

韓国における木材の需給動向と展望

(2024年の木材需要量)

2024年における木材需要量（原木換算量）は、原材料の価格上昇及び住宅着工実績の減少などによる建設景気の沈滞により、前年対比に3.0%減少し、24,754千m³となった。

製品別に推定値をみると紙・板紙用の原木需要量が総消費量の53.0%占め、14,364千m³であり、次いで、製材用材が5,408千m³、合板用材が2,125千m³、MDF用材が1,264千m³などであった。

木材の需要動向・供給展望

(単位：千m³)

区分	実測値			推定値	展望値			
	2021	2022	2023	2024	2025	2027	2029	
需要	製材用材	7,572	6,664	6,025	5,408	5,314	5,092	4,870
	合板用材	4,224	3,852	2,132	2,125	2,113	2,093	2,072
	PB用材	-	-	-	-	-	-	-
	MDF用材	1,336	1,368	1,270	1,264	1,232	1,171	1,102
	紙・板紙用材	14,804	14,656	14,509	14,364	14,220	13,937	13,660
	その他	1,547	1,562	1,578	1,593	1,609	1,642	1,675
	計	29,483	28,101	25,513	24,754	24,489	23,935	23,378
供給	国産材原木	3,811	3,700	3,723	3,188	3,131	3,015	2,897
	輸入原木	3,033	2,607	2,085	1,687	1,609	1,450	1,289
	輸入木製品	22,639	21,794	19,705	19,879	19,749	19,470	19,192
	計	29,483	28,101	25,513	24,754	24,489	23,935	23,378

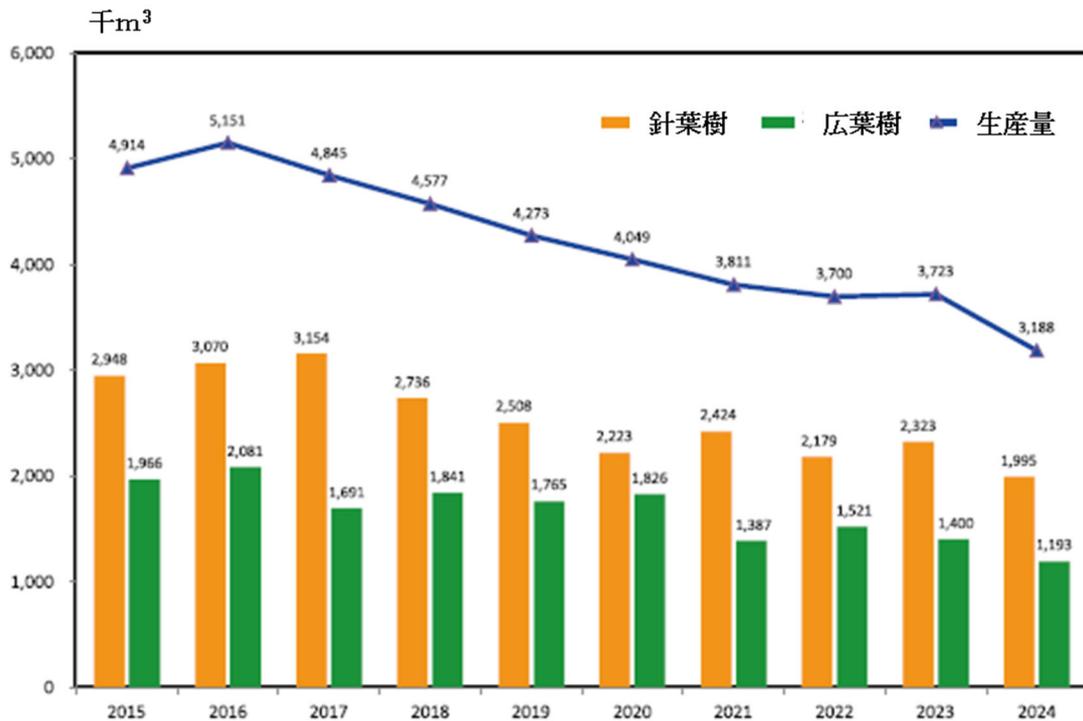
資料：国立山林科学院。2025森林・林業展望

(2025年の木材需要量の展望)

- 木材需要量（原木換算量）は前年対比で1.1%減少し、24,489千m³。
- 国産材の供給量は建設景気の沈滞に伴うMDF用材の需要減少及びそれに伴う国産原木の価格下落などの影響で前年対比に1.8%減少し、3,131千m³。
- 原木輸入量は建設景気の沈滞による製材用材の需要減少で前年対比に4.6%減少し、1,609千m³。
- 木材製品の輸入も建設用及び包装用の製材品の需要減少で前年対比に0.7%減少し、19,749千m³。

(2024年の原木の生産量)

2024年の原木生産量は3,188千 m^3 と前年対比に14.4%減少した。針葉樹の生産量は1,995千 m^3 と前年対比に14.1%、広葉樹の生産量は1,193千 m^3 と前年対比に14.8%の減少となった。原木生産量が減少した主な原因は国内におけるMDF生産企業の減少によるMDF用材の需要減少である。

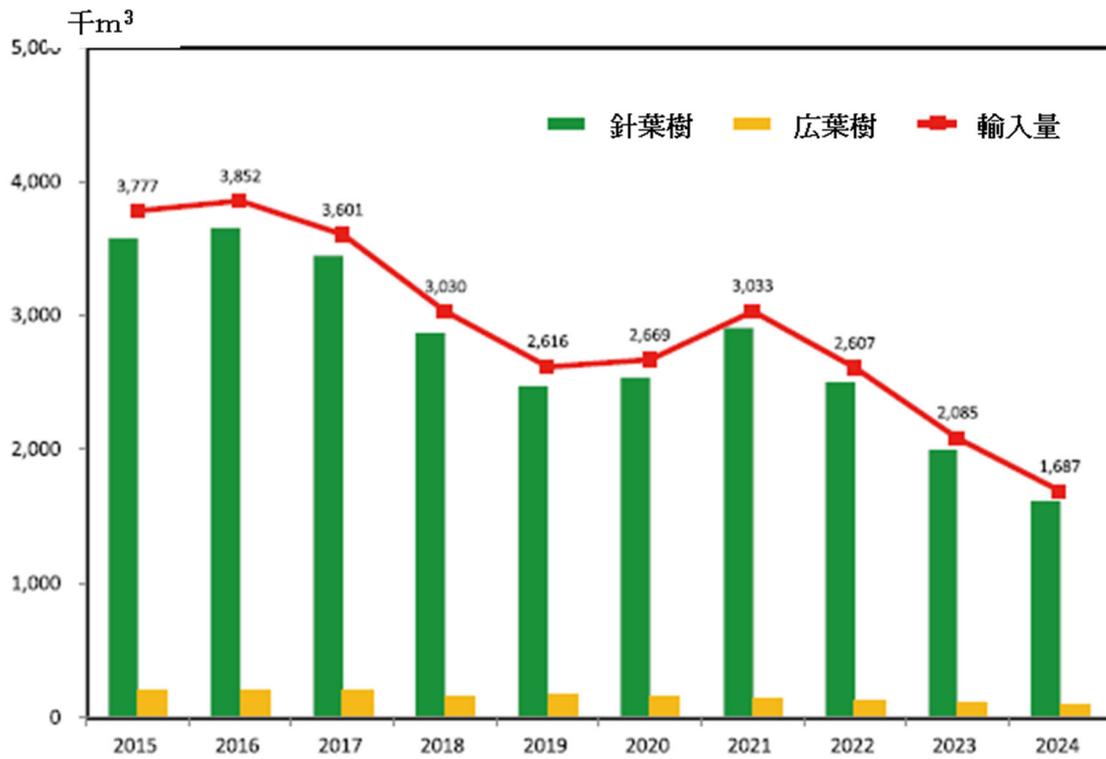


原木の生産量推移

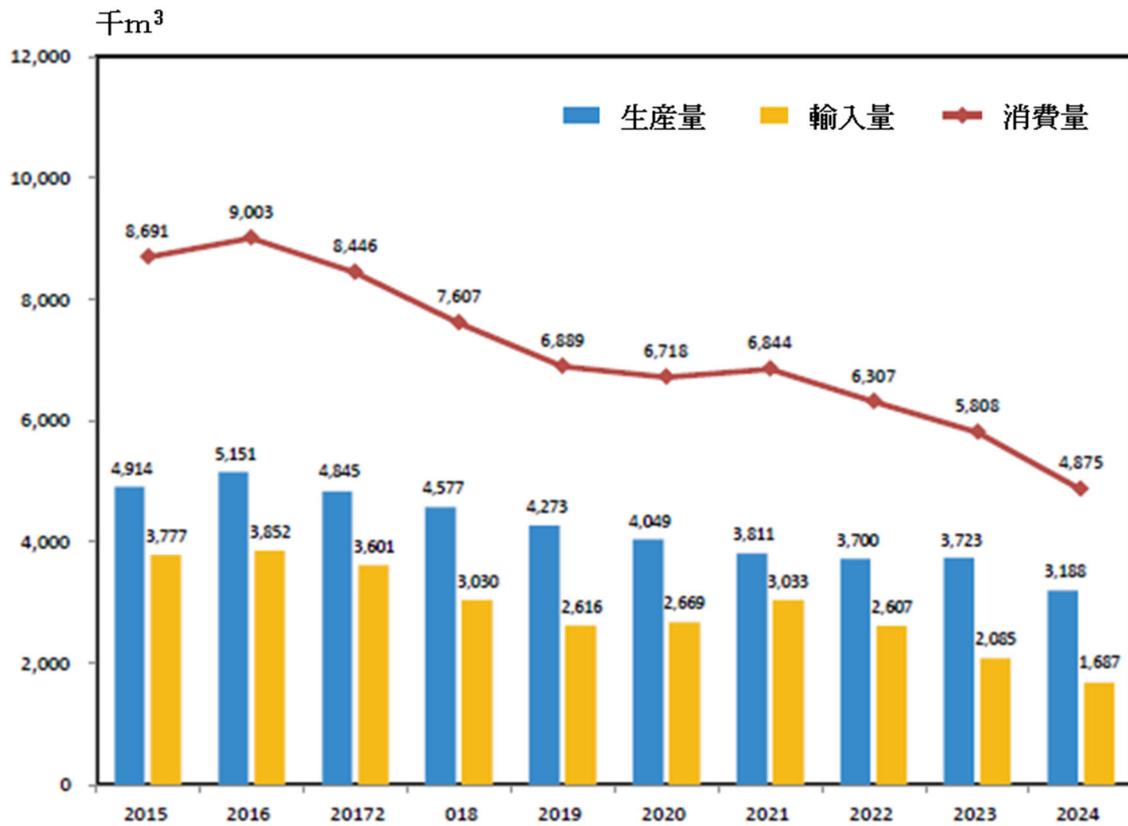
(2024年の原木の輸入量)

2024年の原木輸入量は1,687千 m^3 と前年対比に19.1%減少した。総原木輸入量のうち針葉樹は1,612千 m^3 と前年対比に19.1%、広葉樹は75千 m^3 と前年対比に18.5%の減少となった。総原木輸入量のうち針葉樹が95.6%を占めている。原木輸入量の減少は国内建設及び輸出景気の沈滞による建設用材及び包装用材の需要減少が主な原因である。

一方、2024年の原木輸入量のうちニュージーランドからの輸入量は1,251千 m^3 と前年対比に23.2%の減少となった。ニュージーランドからの原木輸入量は総原木輸入量のうち74.2%を占めており、輸入依存度が高い。ニュージーランド以外の原木輸入国はアメリカ、日本、カナダなどの順となっている。



原木の輸入量推移



原木の需要量推移

(2024年の原木の消費量)

2024年の原木消費量は前年対比に16.1%減少した4,875千 m^3 となった。国内の原木消費量の減少は建設景気の沈滞による製材用材及びMDF用材の需要減少が主な原因である。

国内の原木消費量が5,000千 m^3 以下を記録したことは1972年以来初めてある。

(2025年の原木の需給展望)

- 原木消費量は建設投資の減少による製材用材及び家具用材の需要減少に伴うMDF用材の需要が減少する。
- 原木消費量は前年対比で2.8%減少し、4,740千 m^3 。
- 2025年における原木生産量はMDF用材の需要減少の影響で、前年対比1.8%減少し、3,131千 m^3 。
- 原木輸入量も建設及び輸出景気の沈滞による製材用材の需要減少で前年対比に4.6%減少し、1,609千 m^3 。

原木の需給展望

(単位：千 m^3)

区分	実測値			推定値			展望値		
	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
消費量	6,844	6,307	5,808	4,875	4,740	4,603	4,465	4,326	4,186
生産量	3,811	3,700	3,723	3,188	3,131	3,073	3,015	2,956	2,897
輸入量	3,033	2,607	2,085	1,687	1,609	1,530	1,450	1,370	1,289

資料：国立山林科学院。2025森林・林業展望